

# 一般質問



佐々木 亮 議員

**質問** 福祉職人材回帰マッチング事業の事業実績と成果について

**市長** 17名の参加がありアンケート結果から一定の効果があった

**問** 来年4月の運用開始に向けた「第8期北斗市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定作業は、2025年問題及び2040年問題を視野に入れた議論がされることと思われま

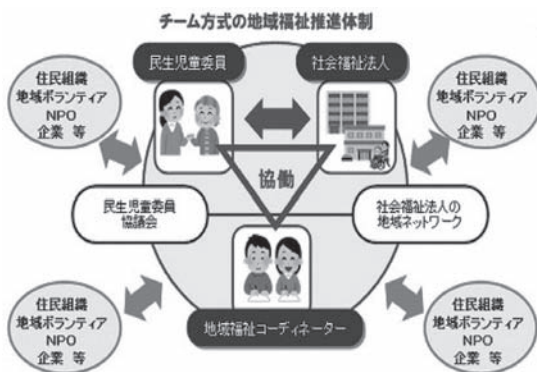
す。着実に進む少子高齢化と人口減少の波の中で、各分野とも人手不足が叫ばれています。高年齢者福祉を取り巻く現場は特に深刻な状況で、私はその中でも特に、介護事業全体の中核を担う介護支援専門員（ケアマネージャー）の負担増を現時点から危惧しているところ

です。そこで以下の点についてお尋ねします。  
 (1)「第8期北斗市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定にあたり、現段階で考える方向性と市の重点施策の内容について

(2)福祉職人材回帰マッチング事業の現時点での事業実績と成果について  
 (3)市が把握している、介護現場でのサービス提供困難ケースの内容と今後の対応策について

**答（市長）** (1)計画の策定にあたっては、2025年問題及び2040年問題を視野に入れて、個人としての尊厳が保たれ、介護予防を充実させ健康年齢を延ばし、その人らしく自立した生活を送ることが

できる安心と地域共生型社会の実現を目指しており、共生型サービスの実施を検討し、従来のサービスの量と質の確保に留意しながら、利用者や関係団体の意見を十分に踏まえ、具体的な水準を協議していく予定となっています。



地域共生社会のイメージ

また、これから、ますますの高齢化や人口減少が進み、地域・家庭・職場という人々の生活領域における支え合いの基盤である「人と人とのつながり」が弱まっていくと予想されますので、これを再構築することで、誰もが役割を持ち、お

互いが配慮し存在を認め合い、そして時に支え合うことで、孤立せずにその人らしい生活を送ることができるような北斗市地域包括ケアシステム実現に向けた取り組みも重要と考えています。

(2)介護や保育などの福祉サービスを、持続的かつ安定的に供給するためには、福祉施設における人材不足解消が急務になっており、その対策のひとつとして、道央圏の学生を対象としたインターンシップを実施したもので、介護分野については、昨年11月、札幌市内の学生17名が参加し、市内4カ所の介護施設でのインターンシップを行っています。

実施後のアンケートでは、「北斗市のことをあまり知らなかったが、来てみてすごく良いところだったので、就職先の候補として検討したい」等の声も複数あり、一定の効果はあったと考えています。  
 (3)困難事例の発生要因は、発生源が個人にある「個人的要因」、発生源が社会側にある「社会的要因」、発生源が社会側の不適切な対応にある「不適切な対応」に大きく分けられ、これらが複合するとより困難な事例となるといわれています。

ケアマネージャー等で対応することが困難なケースの場合は、地域ケア会議を活用し、多職種で対応や援助の方向性を協議し、チームで解決策を検討する体制がありますので、これが十分機能するよ

う働きかけてまいりたい。

**問** 人材確保競争熱が高まっています。厚生労働省で、離職した介護人材の再就職準備金貸付事業を行っていますが、何か市独自の援助、支援策はあるのか伺います。

**答（保健福祉課長）** 第8期計画の策定委員会を通じてアンケート調査を実施しており、何か支援ができるのであれば、政策として作ってまいりたい。

**問** 最低限、今、福祉職に従事している方の離職を防ぐことが喫緊の課題と感じています。

特にケアマネージャーは、免許の更新制度があり、都度、結構な負担があると聞いています。

業務多忙の中、おそらく困難事例もあつたり、書類もたくさん作り、勉強もしながらと、今働いていらっしゃるケアマネージャーは使命感で働いていると感じ、この状況が続くと、いつまで続けられるか心配になります。

せめて研修に掛かる講習代・旅費などの一部だけでも市で負担することはできないか。

**答（保健福祉課長）** 策定委員会のアンケートでも出てくると思いますので、ケアマネージャーが辞めることを防ぐことに重点的を置いた施策を立てられるかどうか、検討してまいりたい。